

マテリアリティ特定の実践 ～SSBJとCSRDを踏まえた効果的な設計～



SSBJ や CSRD への対応が進む中、「既存のマテリアリティをどう扱えばよいのか分からない」「できるだけ一度で対応したい」という声が急増しています。SSBJ と CSRD、異なる考え方をそのまま並べると、マテリアリティは増え、経営では使われなくなります。そうならないためにも、財務への影響評価と社会・環境への影響評価をうまく両基準に合うように行いつつ、経営にしっかりと接続できるように設計する必要があります。

本セミナーでは、SSBJとCSRDの違いを整理したうえで、一度のプロセスで両基準に対応し、経営計画や KPI につなげるためのプロセスとポイントを解説します。開示対応で終わらせず、経営に活かすための実践的なマテリアリティ特定に取り組まれない方は、ぜひご参加ください。

講座概要

- ◆日時 2026年3月4日(水)11:00～12:00
- ◆会場 オンライン@Zoom
※参加 URL はお申込頂いた方にメールでご連絡いたします。
- ◆対象者 サステナビリティ部門の責任者・担当者
- ◆定員 30名
※定員になり次第締め切ります。
※同業他社のご参加につきましては、誠に恐縮ながらご遠慮願います。
- ◆参加費 無料
- ◆お問合せ セミナー事務局 E-mail/application(アットマーク)cre-en.jp
- ◆お申込み <https://forms.office.com/r/uMxzVYQt3Q>
よりお申し込みください。

登壇者

富田 洋史

株式会社クレアン 代表取締役社長/コンサルタント

2012年より、サステナビリティのコンサルタントとしてクレアンに参画。会計・財務分野のコンサルティング経験も活かして、財務とサステナビリティの視点を統合した、経営計画・ビジョンの策定やレポーティング、社内浸透などを支援。これまでに、大手流通、大手電機、大手不動産、大手食品、大手機械、ほか多数の企業を伴走。

<株式会社クレアン>

1988年設立。サステナブルな社会を実現することを使命に、経営コンサルティング事業を展開。2000年より大企業を中心にサステナビリティ推進体制の立ち上げ、マネジメントの推進、サステナビリティレポート、統合レポートをはじめとした情報開示およびステークホルダーとのコミュニケーション支援を一貫して行っています。